

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第108集

市内遺跡発掘調査報告書2001

2003. 3

長野県佐久市教育委員会

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第108集

市内遺跡発掘調査報告書2001

2003. 3

長野県佐久市教育委員会

例 言

- 1 本書は、平成13年度（2001）に試掘調査ならびに立会調査を実施した、長野県佐久市内の個人住宅、民間開発の発掘調査報告書である。
- 2 本調査は、各開発原因者の委託を受けた長野県佐久市教育委員会が実施した。
- 3 本調査および執筆は各担当者が行い、編集を佐々木宗昭が行った。
- 4 本遺跡に関わるすべての資料は、佐久市教育委員会の責任下に保管されている。

調査の体制

事務局平成13年度（2001年度）

教 育 長 依田 英夫（6月退任）

高柳 勉（7月就任）

教 育 次 長 小林 宏造（5月退任）

黒澤 俊彦（5月就任）

文化財課長 草間 芳行

文化財係長 萩原 一馬（5月退任）

森角 吉晴（5月就任）

埋蔵文化財係 林 幸彦、須藤 隆司、小林 眞寿、羽毛田卓也、

富沢 一明、上原 学、山本 秀典、出澤 力

調 査 主 任 佐々木宗昭、森泉かよ子

目 次

1	宮之上遺跡群 5	(1)
2	岩村田遺跡群29	(3)
3	栗毛坂遺跡群19	(4)
4	蛇塚A遺跡Ⅱ	(5)
5	高師町遺跡群 3	(6)
6	蛇塚B遺跡群 4	(7)
7	西一里塚遺跡群・鳴沢遺跡群・上砂田遺跡(隣接地)	(8)
8	栗毛坂遺跡群20	(9)
9	長土呂遺跡群 聖石遺跡Ⅱ	(10)
10	蛇塚B遺跡群 5	(12)
11	枇杷坂遺跡群 直路遺跡Ⅳ	(13)
12	藤塚古墳群 1号墳 藤塚遺跡Ⅳ	(14)
13	東内池遺跡 5	(16)
14	戸坂遺跡群 浅井城跡 2	(17)
15	跡坂遺跡群 8	(18)
16	鳴沢遺跡群 3	(20)
17	蛇塚A遺跡群 2	(22)
18	中金井遺跡群 4	(23)
19	一町田遺跡 1	(24)
20	野沢館跡Ⅲ	(25)
21	城下遺跡群 2	(27)
22	東千石平遺跡群 東千石平遺跡 1	(28)
23	長土呂遺跡群 聖石遺跡Ⅲ	(29)
24	蛇塚B遺跡群 6	(32)
25	栗毛坂遺跡群 東芝間遺跡Ⅰ	(33)
26	未周知	(35)
27	長土呂遺跡群 5	(37)
28	曾根城遺跡Ⅲ	(39)
29	竹原遺跡 2	(41)
30	寺畑遺跡群 9	(42)
31	栗毛坂遺跡群21	(43)
32	松の木遺跡 3	(44)
	2001年度(平成13年度)市内遺跡発掘調査遺跡一覧表	(45)
	2001年度(平成13年度)市内遺跡発掘調査遺跡位置図	

試掘調査

1 宮之上遺跡群 5

所在地 佐久市大字横和字宮之上283-2、285-6

開発主体者 清水澄生

開発事業名 集合住宅建設

調査期間 平成13年4月24日～4月27日

調査面積 510㎡

調査担当者 上原 学



宮之上遺跡群 5 位置図 (1:10,000)

立地と経過

宮之上遺跡群は湯川左岸の標高683mを測る段丘上に立地し、段丘端の畑地では以前から土器の散布が数多く認められた。

今回、清水澄生によるアパート建設が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

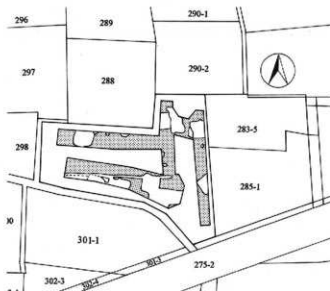


調査風景 (南から)

調査の結果

調査区に南北方向のトレンチ2本、東西方向のトレンチ2本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、平安時代と考えられる住居址8軒、溝状遺構1条、土坑6基、ピットが確認された。遺物は検出時に遺構上面において土師器・須恵器片が多数出土した。

遺構が多数認められたことから主体者と改めて協議を行い、埋め土保存する運びとなった。



宮之上遺跡群 5 調査全体図 (1:1,000)



遺構検出状況



遺構検出状況



遺構検出状況



遺構検出状況



基礎部掘り下げ立会風景（南から）

試掘調査

2 岩村田遺跡群29

所在地 佐久市大字岩村田字六供後3612、3614-7

開発主体者 (株)クボタ

開発事業名 宅地造成事業

調査期間 平成13年5月2日

面積 888㎡

調査担当者 出澤 力



岩村田遺跡群29 位置図 (1:10,000)

立地と経過

岩村田遺跡群は、佐久市北部、現在の岩村田市街地に展開する遺跡群である。中山道の宿場町であった当地では、弥生時代から近世にかけて多くの遺跡が確認されている。本調査対象地に隣接する遺跡で昭和55年に調査された六供後遺跡では溝状遺構1条を確認し、平成13年に調査地南方において行われた試掘調査では奈良・平安時代のものと思われる住居址が確認されている。

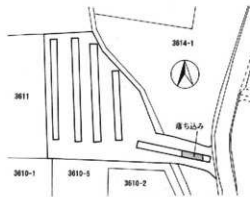
今回、(株)クボタにより宅地造成事業が計画され、遺構の有無を確認するため試掘調査を行うこととなった。

調査の結果

調査対象地内にトレンチを5本設定し、遺構・遺物の確認を行った。表土下約50cmのローム層で検出を行った結果、遺構・遺物ともに確認されなかった。調査区は東に向かい地形が下がっており、調査区東端では自然のものと思われる落ち込みを確認している。



調査風景 (北より)



岩村田遺跡群29 調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

3 栗毛坂遺跡群19

所在地 佐久市大字岩村田字西曾根58-1他2筆

開発主体者 ソニックス株式会社

開発事業名 スポーツセンター建設事業

調査期間 平成13年5月14・15日

面積 810㎡

調査担当者 出澤 力



栗毛坂遺跡群19 位置図 (1:10,000)

立地と経過

栗毛坂遺跡群は、佐久市岩村田の北方から御代田町境までに広く展開し、標高は705～760mを測る。近年の上信越自動車道やそれともなう周囲の開発事業、岩村田北部土地地区画整備事業などが進み現在までに多くの発掘調査が行われた。それにより、遺跡群に沿う形で南下する湯川の低位段丘面より縄文時代早・前期、古墳時代前・後期の遺構遺物が、台地上では縄文早・後期、弥生時代後期、古墳前・後期、奈良、平安時代、中世以降の遺構遺物が確認されている。今回ソニックス株式会社によりスポーツセンター建設事業が計画され、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

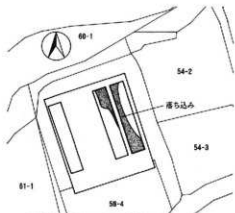
調査の結果

建物基礎部分を中心に、トレンチを3本設定し、遺構・遺物の確認を行った。対象地はかつての水田跡に1m以上の盛り土がなされている。遺構確認は現表土より約1m50cm下のローム層で行った。

結果、溝状の自然地形の落ち込みは確認されたが、遺構・遺物についてはともに確認されなかった。



調査風景 (南より)



栗毛坂遺跡群19 調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

4 蛇塚A遺跡Ⅱ

所在地 佐久市大字安原字南御環1118-2、
1119-1、2

開発主体者 川上 紀夫

開発事業名 集合住宅建設事業

調査期間 平成13年5月21日

面積 1,182㎡

調査担当者 出澤 力



蛇塚A遺跡Ⅱ 位置図 (1:10,000)

立地と経過

蛇塚A遺跡は佐久市安原地籍、標高は712m内外を測り、西側を湯川の河岸段丘に、東側を規模の小さい田切りの低地によって挟まれた台地上に展開する。蛇塚A遺跡群では平成5～7年度に蛇塚遺跡、蛇塚古墳の発掘が行われており、6世紀後半～7世紀初頭、8世紀前半、7世紀後半に当たる古墳3基と縄文・古墳・平安時代の住居址3軒、掘立柱建物址などが確認されている。

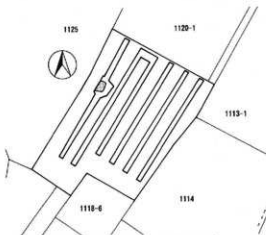
今回川上紀夫により集合住宅建設事業が計画され、遺構の有無を確認するため試掘調査が行われることとなった。



住居址検出状況(南より)

調査の結果

調査対象地にトレンチを6本設定し、遺構・遺物の確認を行った結果、表土下30cmのローム層で竪穴住居址1軒を検出した。住居址は計画された集合住宅建物部分にあたり、遺構の破壊が余儀ない状況であったため保護協議の結果、住居址部分についてのみ、記録保存を目的とした発掘調査が行われることとなった。



蛇塚A遺跡Ⅱ 調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

5 高師町遺跡群 3

所在地 佐久市大字新子田字高師町1413-3

開発主体者 佐久浅間農業協同組合

開発事業名 J A 佐久浅間東部営農センター
集荷場増築工事

調査期間 平成13年5月22日

面積 182.27㎡

調査担当者 羽毛田卓也



高師町遺跡群 3 位置図 (1:10,000)

立地と経過

高師町遺跡群は佐久市大字新子田地籍に所在し、南北の田切り地形に挟まれた台地上に位置し、標高705~710m付近を測る。本遺跡群内では昭和61年度に市道東中学校牧場線建設工事業に伴い高師町遺跡の発掘調査が行われ、平安時代と考えられる竪穴状遺構1基、特殊遺構2基の他柱穴・土坑・溝状遺構等が検出されている。また、平成3年度に集荷場の建設に伴い今回の調査地の東側に隣接して試掘調査が実施されており、平安時代の竪穴住居が3棟検出されている。

また、平成6年度には東中学校改築工事に伴い試掘調査が実施されている。

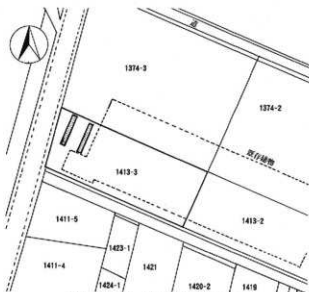
今回、佐久浅間農業協同組合により集荷場増築工事が計画されたため試掘調査を行った。

調査の結果

調査対象地内にトレンチ2本を掘り下げ遺構の確認を行った。調査の結果、地表下約70cmで遺構確認面に達し、平安時代の土師器坏片が数点出土したが、遺構は確認されなかった。



トレンチ掘削状況 (北から)



高師町遺跡群 3 調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

6 蛇塚B遺跡群 4

所在地 佐久市大字新子田字蛇塚1856-8、9

開発主体者 中澤 健一郎

開発事業名 集合住宅建設事業

調査期間 平成13年5月28・29日

面積 2,136㎡

調査担当者 出澤 力



蛇塚B遺跡群4 位置図 (1:10,000)

立地と経過

蛇塚B遺跡群は、佐久市大字新子田地籍に所在する。遺跡群西方に南北に湯川が流れ、東方は田切りの低地によって挟まれた帯状台地上に遺跡群は立地している。昭和54・58年に行われた蛇塚B遺跡の発掘調査では、共に平安時代の住居址等が確認されている。

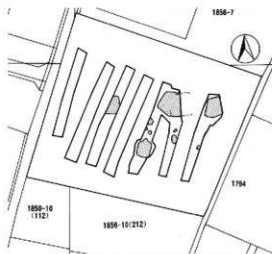
今回中澤健一郎により集合住宅建設事業が計画され、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区内に7本のトレンチを設定し、遺構・遺物の確認を行った。調査区西側部分については後世の削平を受けており、遺構・遺物は確認できなかったものの調査区中央部から東側では表土より40～60cm下のローム層で平安時代の物と思われる土器片と住居址6軒、土坑4基、ピット2基が発見された。結果を踏まえ保護協議が行われ、住居址等遺構にかかる建物部分について、設計を変更し基礎部分を遺跡に影響しない深さで止めるよう措置をとり、保存されることとなった。



遺構検出状況 (北より)

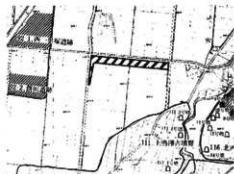


蛇塚B遺跡群4 調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

7 西一里塚遺跡群・鳴沢遺跡群・上砂田遺跡（隣接地）

所在地	佐久市大字根々井字鎌始メ 935-1・935-2
調査委託者	佐久市土木課
開発事業名	市道11-1号線緊急地方道路整備事業
調査期間	平成13年6月14日～6月22日
調査面積	558㎡（対象面積1,393㎡）
調査担当者	森泉かよ子



西一里塚遺跡群他隣接地位置図（1：10,000）

経過と立地

佐久市大字根々井付近は西流する湯川北側の河岸段丘にあたり、佐久市でも有数の遺跡が展開している。鎌始メ地籍は水田として耕作され、標高684mを測る地点である。周辺ではすでに多くの遺跡が発掘調査され記録保存されている。今回、道路造成に伴い周辺の遺跡との関連を把握するため、試掘調査を行った。

調査の結果

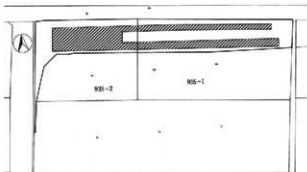
遺構は検出されなかったが、数点の土器片が検出された。土層は現状水田の耕作土を含め水田の粘質土が30cm、その下50cmほど埋土され、15cmの水田層があり、下に浅間第1軽石流が堆積している。東に向かって傾斜し低くなっている。

調査区西端で土器片が6点出土した。

遺物

- 須恵器 杯片（底部糸切り未調整）
- 弥生式土器
- 壺胴部片（無彩）1点
- 甕胴部片（櫛描縞状文・波状文）2点
- 甕底部片1点

いずれも磨耗している。



西一里塚遺跡群・鳴沢遺跡群・上砂田遺跡隣接地（1：1,500）



西より東を望む

試掘調査

8 栗毛坂遺跡群20

所在地 佐久市大字岩村田東赤座3749-1、3751-6

開発主体者 白井米子

開発事業名 集合住宅建設

調査期間 平成13年6月26日

調査面積 320㎡

調査担当者 上原 学



栗毛坂遺跡群20 位置図 (1:10,000)

立地と経過

栗毛坂遺跡群は千曲川右岸の標高730m内外を割る台地上に立地する。調査対象地北側では平成8年に宅地造成に伴う試掘調査が、平成10年には宅地造成に伴う発掘調査が行われ、ともに平安時代の集落址が確認されている。

今回、白井米子による集合住宅建設が行われる事となり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

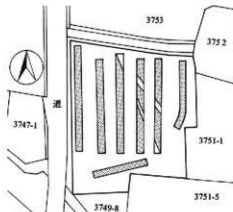
調査の結果

調査区に南北方向のトレンチ6本、東西方向のトレンチ1本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、溝状遺構2条が検出されたため、部分的に掘り下げたが、掘り込みは非常に浅く、遺物も認められないことから検出状況の図面作成を行った後、埋め戻しを行った。

今回の調査で遺物は出土しなかった。



調査風景 (南から)



栗毛坂遺跡群20 調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

9 長土呂遺跡群・聖石遺跡Ⅱ

所在地 佐久市大字長土呂字三百地471～473、
字聖石427、429～432

開発主体者 双信電機株式会社

開発事業名 土壌調査及び土地改良事業

調査期間 平成13年7月11～19・21日

面積 8,391㎡

調査担当者 出澤 力



聖石遺跡Ⅱ 位置図（1：10,000）

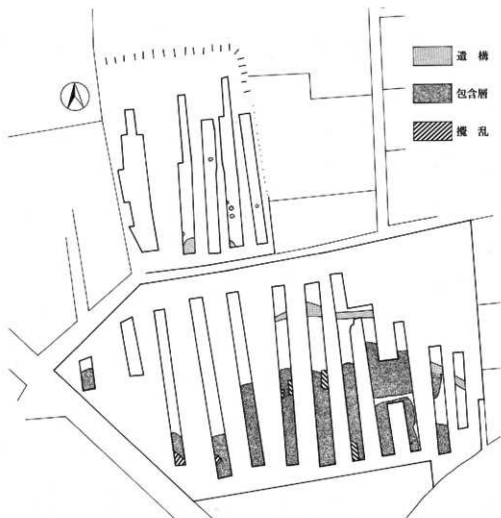
立地と経過

長土呂遺跡群は佐久平北方に位置し、佐久市長土呂地籍に所在する。標高は今回の調査対象地付近で713m内外を測り、浅間山麓に展開する田切り地形の帯状台地上に展開している。対象地は田切りの台地部分が低地へと落ち込んでゆく部分にちょうど位置しており、隣接する平成13年調査の聖石遺跡では、弥生時代後期のものと思われる住居址3軒が調査され、その遺跡の台地寄りの部分では試掘調査時に住居址24軒が確認された。本遺跡群が存在する台地上には、佐久市でも屈指の大集落址である聖原遺跡が存在し、周辺は佐久市有数の遺跡の密集地帯である。

今回、双信電機株式会社により土壌調査及び土地改良事業が計画され、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区内に、合計17本のトレンチを設定し、遺構・遺物の確認を行った。道路を挟んだ北側の調査区では、その半分以上に後世の攪乱を受けており、遺構遺物はほとんど確認されなかった。南側調査区は所々に攪乱を認め、全体に地表下約50cmは攪乱されている。地表より約120cm下、ローム層上の黒色土層で遺構・遺物の確認を行い、地形が落ち込んでゆく南側の黒色土層で弥生時代中期～後期にかかる土器片が多く発見された。この部分については、河川氾濫などに原因を求めることが出来る包含層であると思われるが、部分的に住居址の存在する可能性を認め、保護協議の結果、土壌改良にともない、現地地表下120cmより深く掘削される部分について、記録保存を目的とする発掘調査が行われることとなった。



長上呂遺跡群埋石遺跡II 調査全体図 (1:1,000)



北側調査区調査風景 (南より)



南側調査区 (北より)

試掘調査

10 蛇塚B遺跡群 5

所在地 佐久市大字新子田字野馬久保1943-23

開発主体者 市川那迦子

開発事業名 集合住宅建設

調査期間 平成13年7月17日～7月19日

調査面積 530㎡

調査担当者 上原 学



蛇塚B遺跡群5 位置図 (1:10,000)

立地と経過

蛇塚B遺跡群は湯川左岸の標高715m内外を測る台地上に立地する。本遺跡群では県道香坂・中込線東側において3回の調査及び西側の野馬久保遺跡の調査が行われ、ともに平安時代の住居址が確認されている。今回調査対象となった地域はこの両調査区の中央付近のやや南に位置する。

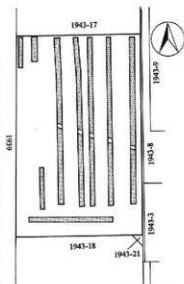
今回、市川那迦子によるアパート建設が行われる事となり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に南北方向のトレンチ7本、東西方向のトレンチ1本を設定し遺構の確認を行った。その結果、調査区中央付近から東西方向の溝状遺構1条が確認されたため、開発主体者と改めて協議を行い、埋め土保存する運びとなった。検出面であるローム土層までの深さは60～70cmを測る。



調査風景 (南東から)



蛇塚B遺跡群5 調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

11 枇杷坂遺跡群直路遺跡Ⅳ

所在地 佐久市大字

岩村田字上直路1074-1・8・9

長土呂字水引270-1・11・12、290-9

調査委託者 有限会社 田園不動産

開発事業名 宅地造成事業

調査期間 平成13年7月24日～平成13年7月26日

面積 1,789.6㎡

調査担当者 林 幸彦



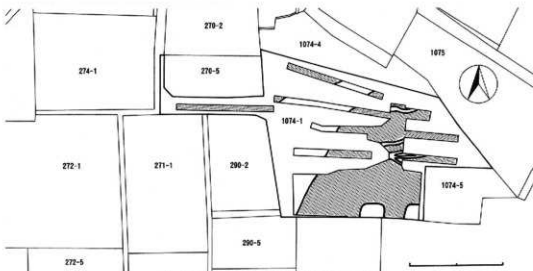
枇杷坂遺跡群直路遺跡Ⅳ 位置図 (1:10,000)

立地と経過

枇杷坂遺跡群は佐久市の北部に展開する「田切り地形」の台地上にある。今回、(有)田園不動産が宅地造成を計画したので事前に試掘調査をし、遺構の有無を確認した。本遺跡群内では多くの遺跡が調査されている。隣接した佐久平駅周辺土地区画整理事業に伴い直路遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲが調査され弥生時代後期の竪穴住居址等が検出されている。

調査の結果

東西に6本のトレンチを設定し遺構の確認をした。弥生時代後期の竪穴住居址2軒と溝5本が確認された。保護協議の結果、擁壁と道路用地を調査し、他は盛り土することになった。



枇杷坂遺跡群直路遺跡Ⅳ 調査全体図 (1:1,000)

発掘調査

12 藤塚古墳群 1号墳 藤塚遺跡Ⅳ

所在地 佐久市大字塚原字姫小石1543-1

調査委託者 曾根勇二 曾根深雪

開発事業名 個人住宅建設

調査期間 平成13年8月20日～10月19日

面積 442㎡

調査担当者 林 幸彦



藤塚古墳群 1号墳
藤塚遺跡Ⅳ 位置図 (1:10,000)

立地と経過

藤塚古墳群・藤塚遺跡は佐久市の北西端、浅科村と小諸市境に位置する。標高は670m内外である。発掘調査地点や周辺には、塚原泥流の「流れ山」が多く見られる。一帯は塚原泥流の西の端に近く、「流れ山」の最西端である。平成3・4年度に与志本林業(株)による資材置き場・加工場建設に関わり19,033㎡が発掘調査されている。円墳(古墳時代後期・7世紀末)3基、前方後円形の4号墳(古墳時代前期)1基、竪穴住居址3棟(古墳時代前期)、竪穴状遺構2棟等が検出されている。今回、曾根勇二・曾根深雪が住宅建設を計画した。保護協議を重ねたが保存が困難となり、藤塚古墳群1号墳とその周辺の発掘調査を実施した。

調査の結果

1号墳は、7世紀後半の両袖式の立柱石横穴石室を持つ円墳である。出土遺物は、石室礎床から須恵器壺片8点、鉄器1点、銅碗蓋1点が出土した。石室攪乱層から人骨・近世陶磁器類が出土した。調査区西端から、磔を伴う浅い溝状遺構が検出された。須恵器片が少量出土している。



藤塚古墳群 1号墳石室 (南方から)



藤塚古墳群1号墳全景（西方から）



藤塚古墳群1号墳銅鏡出土状態

試掘調査

13 東内池遺跡 5

所在地 佐久市大字新子田字東内池1708-2、1709-3

開発主体者 有限会社 サンコー地所

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成13年8月27日

調査面積 330m²

調査担当者 上原 学



東内池遺跡 5 位置図 (1:10,000)

立地と経過

東内池遺跡は湯川左岸の、田切りにより分断された、南北方向に細長い台地上に立地する。標高は707m内外を測る。

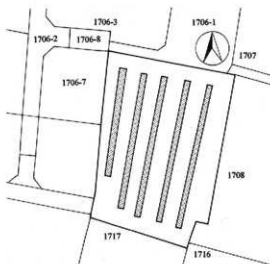
今回、有限会社サンコー地所による宅地造成が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に南北方向のトレンチ5本を設定し、遺構の確認を行ったが遺構・遺物ともに認められなかった。また、層序は上から耕作土、砂層、黒褐色土、ローム層であり、黒色土上に砂層が調査区全体に堆積していることから、遺跡周辺は河川等による氾濫を受けた可能性が考えられた。



調査風景 (北から)



東内池遺跡 5 調査全体図 (1:10,000)

試掘調査

14 戸坂遺跡群・浅井城跡 2

所在地 佐久市大字新子田字丑ヶ久保766-5外6筆

字四ツ塚673-5、673-6

開発主体者 佐久建設事務所

開発事業名 道路改良

調査期間 平成13年8月29日

調査面積 160㎡

調査担当者 上原 学



浅井城跡2 位置図 (1:10,000)

立地と経過

戸坂遺跡群浅井城跡は新子田地籍の香坂川右岸段丘端に立地する。標高は706m内外を測る。この地域は中世城郭の伝承地とされる他、弥生時代から平安時代の住居址が展開する戸坂遺跡群内に含まれる。

今回、佐久建設事務所による道路改良工事が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に南北方向のトレンチ2本、東西方向のトレンチ4本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、調査地域をおよそ東西方向にのびる谷状地形が認められ、流れ込みと思われる土師器・須恵器片が出土した。



谷状地形掘り下げ状況 (南から)



戸坂遺跡群浅井城跡2 調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

15 跡坂遺跡群 8

所在地 佐久市大字横根字南海老
964、965-1、968、971-2、973他

開発主体者 佐久市（生活環境課）

開発事業名 埋立処分地施設整備事業

調査期間 平成13年8月30日

面積 7,800㎡

調査担当者 羽毛田卓也



跡坂遺跡群 8 位置図（1：10,000）

立地と経過

跡坂遺跡群は佐久市の最北部、湯川右岸に沿った標高739～747mの台地上にあり、遺跡群内には尚原古墳、からむし古墳が存在する。

本遺跡群内では平成9年度・平成11年度に試掘調査が実施されている。平成9年度に行われた調査は農道整備事業に伴うものであり、広大な台地上を貫くように約700mにわたって行い、平安時代の堅穴住居址が検出されている。

今回、佐久市生活環境課により埋立処分地施設整備事業が計画され、事前に試掘調査を実施することとなった。

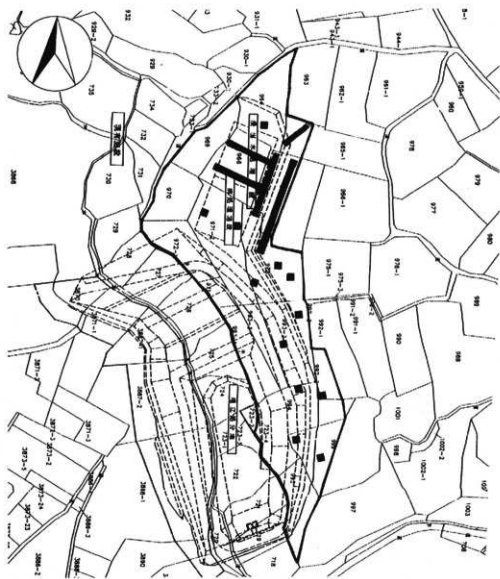
調査の結果

調査対象地内にトレンチ5本、テストピット12箇所を掘り下げ遺構の確認を行った。

調査の結果、旧状はかなり段差があったと考えられ、畑にする際に高い部分を削平し低地部分に盛土が行われている。遺構確認面までは20～70cmを測る。高地部分では黄褐色ローム層上面、低地部分では黒色シルト質土上面で確認を行ったが、遺構・遺物ともに確認されなかった。



調査状況（東から）



踏込道路第8 調査全体図 (1:2,000)



トレンチ掘削状況 (北から)



トレンチ掘削状況 (北から)

試掘調査

16 鳴澤遺跡群 3

所在地 佐久市大字根々井字鳴澤886-1
開発主体者 有限会社 田園不動産
開発事業名 宅地造成
調査期間 平成13年9月5日～9月6日
調査面積 260㎡
調査担当者 上原 学



鳴澤遺跡群 3 位置図 (1:10,000)

立地と経過

鳴澤遺跡群は湯川右岸の段丘上に立地し、標高は685m内外を測る。この一帯は遺跡の密集地として以前から知られており、北西ノ久保遺跡、中西の久保遺跡、西一本柳遺跡など、弥生時代から平安時代を中心とする集落址、古墳群が調査されている。鳴澤遺跡群内においても平成9年に五里田遺跡の調査が行われ、弥生・古墳時代の住居址43軒、円形・方形周溝墓5基、土坑37基などが認められ、これにともなう多くの遺物が出土している。特に弥生時代中期・後期の住居址から出土した鉄剣2振と鉄銅、弥生時代後期の円形周溝墓から出土した銅銅は、東日本における鉄器文化の受容実態、青銅品の流通問題を考える上で重要な発見であった。

今回、五里田遺跡の南側には隣接する地域において、有限会社田園不動産による宅地造成が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

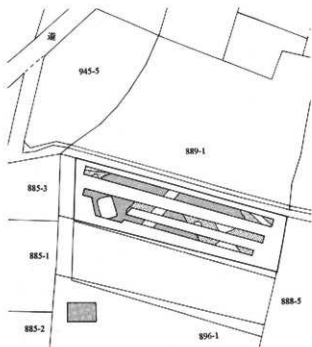
調査の結果

調査区に東西方向のトレンチを3本設定し、遺構の確認を行った。この結果、奈良時代以降の住居址1軒、古墳時代の住居址2軒、溝状遺構2条の他、住居址の覆土を思わせる弥生式土器、古墳時代の土師器を多量に含む黒色土包含層が広範囲にわたって確認できた。この黒色土上で



調査風景 (東から)

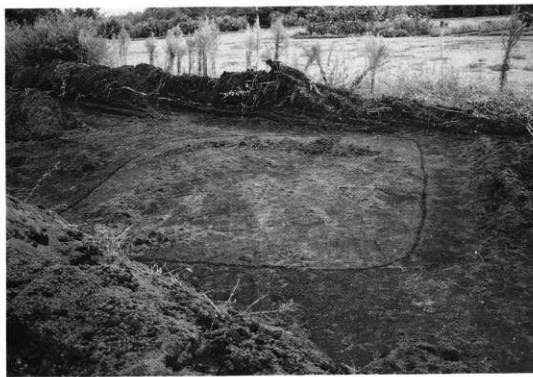
の遺構プランは限られた範囲で行ったため、プランは確定できないが多くの住居址等の遺構が存在すると考えられた。よって、開発主体者と改めて協議を行った結果、開発地域を全面盛り土し、遺構は埋め土保存する運びとなった。



明澤遺跡群3 調査全体図 (1:1,000)



調査風景 (西から)



住居址掘出状況

試掘調査

17 蛇塚A遺跡群2

所在地 佐久市大字安原字蛇塚1400-2

開発主体者 萩原秀規

開発事業名 ホスピス建設

調査期間 平成13年9月13・14日

面積 3,510㎡

調査担当者 羽毛田卓也



蛇塚A遺跡群2 位置図 (1:10,000)

立地と経過

蛇塚遺跡群は佐久市の北東部、湯川左岸の台地上に位置し、標高713～721mを測る。主要地方道下仁田・浅科線を挟んで南方には蛇塚B遺跡群があり、蛇塚遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの発掘調査により平安時代の竪穴住居址26棟が検出されている。

本遺跡群内では宅地造成事業に伴い、平成6年度に蛇塚遺跡、平成8年度に蛇塚古墳の発掘調査が実施されている。

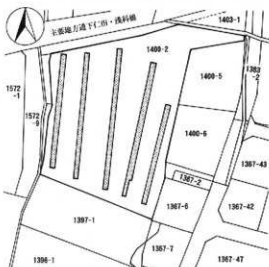
今回、遺跡群内にホスピス建設が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を実施した。

調査の結果

調査対象地内にトレンチ5本を掘り下げ遺構の確認を行った。調査の結果、地表下25～60cm前後で遺構確認面に達したが、果樹等の抜根による攪乱を受けており、須恵器片が数点出土したものの遺構の存在は確認されなかった。



調査状況 (南から)



蛇塚A遺跡群2 調査全体図 (1:1,500)

試掘調査

18 中金井遺跡群 4

所在地 佐久市大字小田井字中金井756-1他

開発主体者 柳澤 保

開発事業名 集合住宅建設

調査期間 平成13年9月17日

面積 4,793.57㎡

調査担当者 羽毛田卓也

立地と経過

中金井遺跡群は佐久市の北端部、御代田町境の小田井地籍に所在し、標高734～780mを測る。周辺は田切り地形が発達しており、西方の台地上には跡坂遺跡群・長土呂遺跡群・など多くの遺跡群が展開し、湯川を挟んだ東方には横根古墳群が存在している。

本遺跡群内では小田井工場団地造成事業等に伴い、金井城跡、荒田・上金井遺跡の発掘調査が約80,000㎡にわたって行われている。

今回、遺跡群内に集合住宅建設が行われることとなり試掘調査を実施した。

調査の結果

調査対象地の内、東側の801-1・2・3、802-1・2、804-2については谷地状の低地にあたり、また、既存の建物の建設及び撤去時の擾乱を受けていることから今回の調査対象から除外し、西側の756-1、757-1についてトレンチ4本を掘り下げ遺構の確認を行った。

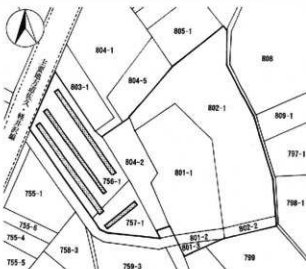
調査の結果、盛土部分を含めて70～190cm前後で遺構確認面に達したが、遺構・遺物ともに確認されなかった。



中金井遺跡群 4 位置図 (1:10,000)



トレンチ掘削状況 (北西から)



中金井遺跡群 4 調査全体図 (1:1,500)

試掘調査

19 一町田遺跡 1

所在地 佐久市大字三塚字下屋敷282-2

開発主体者 佐久市（児童課）

開発事業名 児童館建設

調査期間 平成13年9月26日

調査面積 160㎡

調査担当者 上原 学



一町田遺跡1 位置図（1：10,000）

立地と経過

一町田遺跡群は佐久市南部、千曲川左岸の氾濫源沖積地上に立地し、西には片貝川が北流する。標高は665m内外を測る。

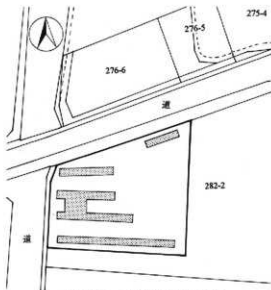
今回、佐久市児童課による児童館建設が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に東西方向のトレンチ5本を設定し、遺構の確認を行ったが、遺物・遺構ともに認められなかった。層序は上層から水田床土、一部に黄褐色シルト、礫の各層である。



調査風景（南東から）



一町田遺跡1 調査全体図（1：1,000）

試掘調査

20 野沢館跡Ⅲ

所在地 佐久市大字原字屋敷466-1、480-2

開発主体者 野沢 潤子

開発事業名 集合住宅建設

調査期間 平成13年10月15・16日

面積 1,196㎡

調査担当者 羽毛田卓也



野沢館跡Ⅲ 調査全体図 (1:10,000)

立地と経過

野沢館跡は佐久市大字原地籍に所在し、千曲川右岸の沖積地にあり、標高674～676mの比較的平坦な地形である。本館跡内では平成11年度に行われた薬師寺遺跡の発掘調査をはじめ、数度にわたって試掘調査が実施されている。現在の野沢館跡は周囲に用水路を巡らし、その内側に沿って西・北・東の三方に土塁を残しており、昭和40年に長野県史跡に指定されている。

今回の調査区はこの東側に隣接した地点にあたり、中世遺構の存在が予想されたことから、集合住宅建設に先立ち試掘調査を実施した。

調査の結果

調査対象地の内、北側建物部分に2本、南側駐車場部分に1本のトレンチを掘り下げ遺構の確認を行った。調査の結果、地表下約30cmで近世以降の墓地二次堆積層に達し、さらに10～30cm下層の黒褐色・暗褐色シルト質土上面より中世の柱穴址・土坑・井戸址が検出されたことから、調査地全体に中世から近世にかけての遺構と遺物包含層が広がっていることが判明した。

試掘調査終了後保護協議を行い、建物の基礎工事により破壊される部分について発掘調査を行い、駐車場部分については現状保存されることとなった。



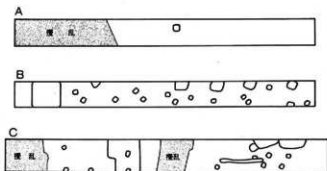
調査状況 (西から)



Aトレンチ掘削状況(東から)



Bトレンチ遺構検出状況(西から)



遺構確認図 (1:250)



Cトレンチ掘削状況(北から)



Cトレンチ遺構検出状況(東より)

試掘調査

22 東千石平遺跡群 東千石平遺跡 1

所在地 佐久市瀬戸字東千石平
開発事業名 学術調査
調査期間 平成13年10月29日～10月30日
面積 345m²
調査担当者 小林真寿



東千石平遺跡1 位置図 (1:10,000)

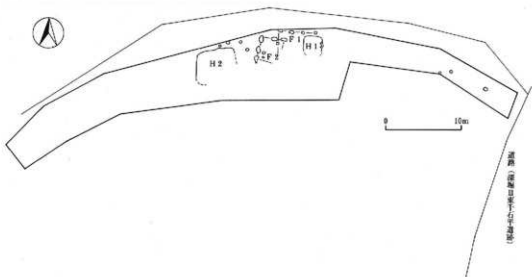
立地と経過

東千石平遺跡群は佐久市瀬戸に所在し、志賀川の河岸段丘上に立地し、標高670m内外を測る。

調査対象地は遺跡群の西部に位置し、以前から須恵器窯址の存在の可能性が指摘されていた。遺跡群の北部隣接地である深堀遺跡群の区画整理事業が終了し、当遺跡群内での開発行為が今後増加する可能性が極めて強いことから、窯址の有無を確認するため試掘調査を実施した。

調査の結果

窯址が存在する可能性が最も強い斜面と、斜面に連続する平坦地の耕作土を除去し、平成11年度に調査が実施された、隣接する東千石平遺跡 I の遺構確認面と同じ面で窯址の有無を確認したが、奈良・平安時代の集落の一部が確認されただけで、窯址は存在しなかった。



東千石平遺跡群東千石平遺跡1 全体図 (1:500)

試掘調査

23 長土呂遺跡群 聖石遺跡Ⅲ

所在地 佐久市大字長土呂字聖石432-2他

開発主体者 東亜開発株式会社

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成13年11月15・16・19日

面積 323㎡

調査担当者 須藤 隆司



長土呂遺跡群聖石遺跡Ⅲ 位置図（1：10,000）

立地と経過

長土呂遺跡群聖石遺跡Ⅲは佐久市の北部、長土呂地籍に所在し、浅間山第1軽石流を基盤とする「田切」地形に立地する。調査地点は低地とそれに移行する台地縁辺部である。今回、東亜開発株式会社による宅地造成が本遺跡内に計画されたため、試掘調査を実施した。

調査の結果

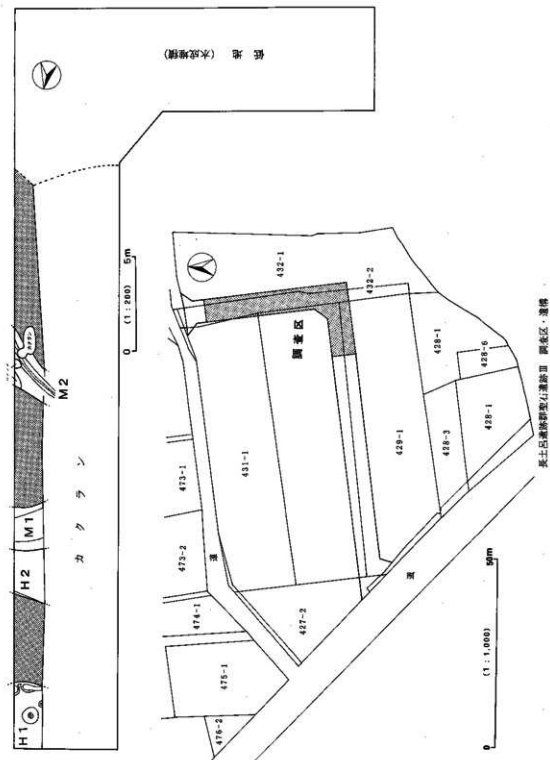
調査地点は双信電気株式会社の工場跡地で、同社による土壌調査及び土壌改良事業に伴い試掘調査が実施されていた。今回、その時点で調査が実施されなかった地点及び遺構の存在が想定され記録保存が必要な部分である道路建設箇所の調査を実施した。その結果、調査区東側の台地縁辺残存部で弥生時代後期の竪穴住居址2軒と溝2基の一部が検出された。また、低地部では、弥生後期土器片に混ざって埴子葉型石芥が1点検出された。緑色凝灰岩を石材とし、長さ16.6cm、幅4.4cm、厚さ2.9cm、重さ219.82gを測る。刃部は打裂片刃で研磨は施されていない。

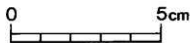
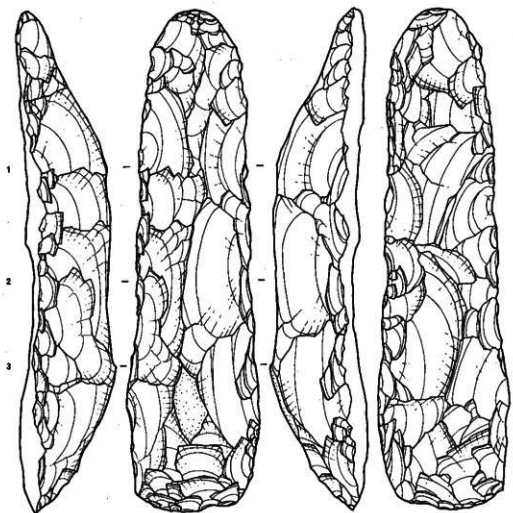


遺構全景（北より）



H2号竪穴住居址とM1溝址





長土呂遺跡群型石遺跡Ⅲ 神子築型石斧

試掘調査

24 蛇塚B遺跡群 6

所在地 佐久市大字新子田字ミゼキ1821外2筆

開発主体者 佐久建設事務所

開発事業名 道路改良

調査期間 平成13年11月26日

調査面積 85㎡

調査担当者 上原 学



蛇塚B遺跡群6 位置図 (1:10,000)

立地と経過

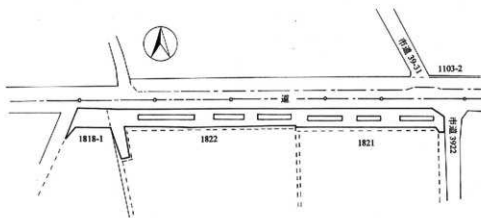
蛇塚B遺跡は、湯川左岸の標高700～715mを測る台地上に立地する平安時代の集落址である。今回、遺跡群北東端において佐久建設事務所による道路改良工事が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に東西方向のトレンチ6本を設定し、遺構の確認を行ったが、遺物・遺構ともに認められなかった。層序は上層から水田床土、灰黄褐色シルト、暗褐色土、ローム土で、検出面であるローム土上面までの深さは30～40cmを測る。



調査風景 (南東から)



蛇塚B遺跡群6 調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

25 栗毛坂遺跡群東芝間遺跡 I

所在地 佐久市大字岩村田字東芝間
3871-1～3、3872-1・3、3887-2

調査委託者 有限会社 田園不動産

開発事業名 宅地造成事業

調査期間 平成13年11月29日～平成13年12月15日

面積 2,791㎡

調査担当者 林 幸彦



立地と経過

栗毛坂遺跡群は佐久市大字岩村田に所在する。東芝間遺跡は栗毛坂遺跡群内湯川の右岸にあり、東・北東は急峻な田切り地形に臨む。標高740mを測る。今回、(有)田園不動産が宅地造成を計画したため事前に試掘調査を実施し遺構の有無を調査した。



遺構検出状況 (南方から)

南の隣接地は、1995年（平成8年）サカイ創建（株）が宅地造成を計画したため試掘調査を実施している。平安時代の竪穴住居址等が確認されたが、開発は凍結された。しかし、1998年11月（平成10年）には、同じ場所を（株）アメックが宅地造成を行った。削平される道路部分が発掘調査されている。

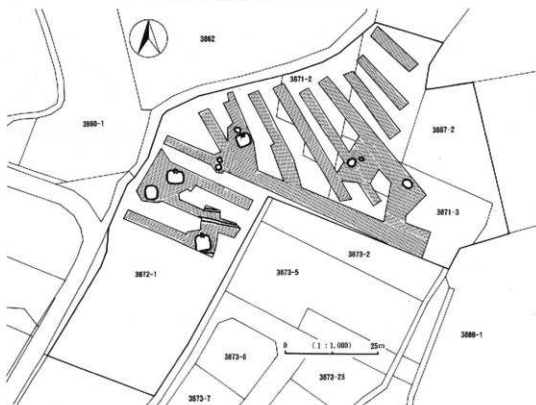
調査の結果

調査対象地に13本のトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。竪穴住居址5軒、溝2本、土坑6基が調査区南半から浅間第一軽石流の上面で確認された。遺物は、遺構上面から平安時代の土器が出土した。

保護協議の結果、削平される西側にある竪穴住居址3軒と土坑3基を発掘調査することになった。他の遺構は確認面までの耕作土30～50cmと盛り土30～50cmで覆われることになった。



栗毛坂遺跡群東芝間遺跡1 試掘状況（北東から）



栗毛坂遺跡群東芝間遺跡1 調査全体図（1：1,000）

試掘調査

26 未周知

所在地 佐久市大字内山7705、7290

開発主体者 佐久建設事務所

開発事業名 道路改良事業

調査期間 平成13年12月3・4日

面積 13,920㎡

調査担当者 羽毛田卓也



調査対象地位置図 (1:10,000)

立地と経過

本調査地は未周知の埋蔵文化財宝蔵地であり、佐久市大字平賀・瀬戸に所在する通称「後家山」と呼ばれる低丘陵地帯と滑津川に挟まれ、現在は水田となっている地帯である。

北側の丘陵には宮田遺跡・後家山遺跡・東久保遺跡の他、丘陵の南裾に沿って東久保古墳群・東焼石古墳群・月崎古墳群が存在しており、昭和49年度の後家山古墳の発掘調査をはじめとして、平成13年度から14年度にかけて佐久市による公園造成等に伴い、宮田遺跡・後家山遺跡・東久保遺跡の発掘調査が実施されている。

この丘陵の西側に広がる樋村遺跡群では、昭和57・58年度に土地改良事業に伴い樋村遺跡の発掘調査が行われ、弥生時代から平安時代に至る竪穴住居址300棟が調査されている。また、平成11・12年度には佐久建設事務所による道路改良事業、国道254号佐久平賀バイパス建設に伴う試掘調査・発掘調査（樋村遺跡Ⅱ）が実施され、古墳時代後期を中心とした竪穴住居址35棟の他、掘建柱建物址・土坑・溝状遺構等が確認されている。

今回の調査地はこの道路改良事業によるバイパス建設予定地の東側部分にあたることから、遺構の有無を確認するため試掘調査を実施した。

調査の結果

調査対象地内に東西方向のトレンチを1本連続して掘り下げ遺構の確認を行った。

調査の結果、地表下約60～110cmで遺構確認面であるシルト質土・砂礫層・粘土層に達した。圃場整備等により削平を受けている箇所も認められたが、概ね安定した河川影響下における堆積層である。

出土遺物として土器片・陶磁器片がわずかにみられるものの、遺構の存在は確認されなかった。



調査区位置図 (1:15,000)



調査状況 (西から)



調査状況 (東から)

試掘調査

27 長土呂遺跡群 5

所在地 佐久市大字長土呂字上餅袋504-1

開発主体者 清野虎男

開発事業名 集合住宅建設

調査期間 平成13年12月5日

調査面積 550㎡

調査担当者 上原 学



長土呂遺跡群 5 位置図 (1:10,000)

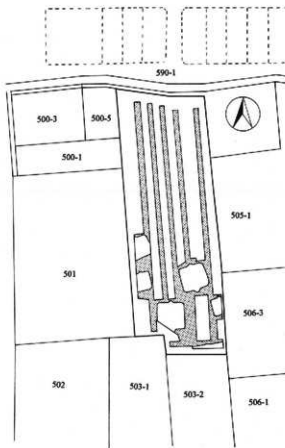
立地と経過

長土呂遺跡群は、佐久市長土呂地籍に所在し、浅間山の麓から放射状に伸びる田切り地形のおよそ南北方向に細長い台地上に立地する。標高は705～760mを測る。調査地域は遺跡群の南端付近、標高720m内外を測る台地上である。

今回、清野虎男による集合住宅建設が行われる事となり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に南北方向のトレンチ5本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、調査区南側から竪穴住居址5軒、溝跡1条が認められた。住居址の壁長は5～7mを測り、カマドはいずれも北壁に構築されていた。遺物は遺構上面で土師器片が数点認められた。よって、開発主体者と改めて協議を行った結果、開発地域を全面盛土し、遺構は埋め土保存する運びとなった。



長土呂遺跡群 5 調査全体図 (1:1,000)



調査風景（南から）



住居址検出状況



住居址検出状況



住居址検出状況



住居址検出状況

試掘調査

28 曾根城遺跡Ⅲ

所在地	佐久市大字小田井195、196-1
開発主体者	安井英二
開発事業名	宅地造成
調査期間	平成14年1月15・16日
調査面積	1540㎡
調査担当者	上原 学



立地と経過

曾根城遺跡は佐久市北方の小田井地籍に所在し、浅間山の麓から放射状にのびる田切り地形の台地上に立地する。標高は753～762mを測る。調査対象地は遺跡群の北端、小諸市との境界に接し、標高756m内外を測る。

今回、安井英二による宅地造成が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

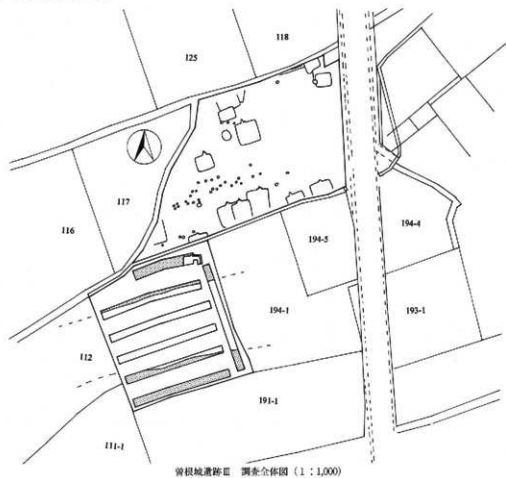
調査地域は大きく2地域に分かれることから、便宜上北をA区、南をB区として調査を進めた。A区は既に表土が剥ぎ取られ、遺構検出面となるローム土が露出した状態であった。このためほぼ全域にわたり遺構の検出が可能であった。検出作業の結果、住居址14軒、土坑3基、溝跡1条、掘立柱建物址の一部と考えられるピット多数が認められた。住居址の大半は北にカマドを持ち、確認面上から土師器・須恵器片が出土した。B区は南北方向のトレンチ1本、東西方向のトレンチ5本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、本地域の大半は谷状地形上に位置することが確認され、この上から遺構は認められなかった。しかし調査区北にはA区から続くローム面が存在し、ここから北カマドを持つ住居址1軒が確認できた。検出面までの層序はA区が、上から30cm内外の耕作土、検出面であるローム土である。B区の南及び北端はA区とほぼ同様で、谷状



調査風景 (西から)

地形は上から耕作土、褐色土、黒色土であった。

なお、開発主体者と協議の結果、遺構の破壊が予想される道路部の本調査を行い、他は埋土保存する運びとなった。



曾根城遺跡Ⅱ 調査全体図 (1:1,000)



調査風景 (東から)



調査風景 (南西から)

立会い調査

29 竹原遺跡 2

所在地 佐久市大字平賀字竹原4800-2、4801-5

4801-6、4803-2、4804-5、4799-2・3

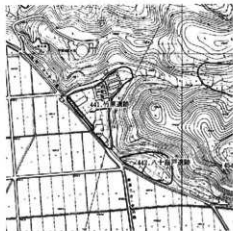
調査委託者 佐久建設事務所

開発事業名 道路改良事業

調査期間 平成14年1月31日、2月7日

面積 260㎡

調査担当者 林 幸彦



竹原遺跡 2 位置図 (1:10,000)

立地と経過

竹原遺跡は、佐久市の南東平賀地籍にある。周辺には八十海戸遺跡や平賀城跡がある。

今回、佐久建設事務所が道路改良工事で歩道設置することになった。

平成8年度の立会い調査の結果や表面踏査の結果から事前保護協議で立会い調査とした。

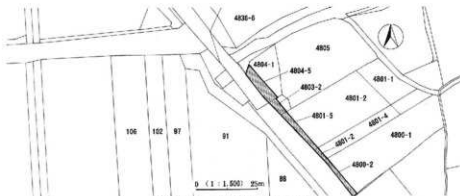


調査状況 (北西から)

調査の結果

歩道設置部分を精査したが、遺構は確認されなかった。

遺物は、平安時代の土師器壺小片が1点出土した。



竹原遺跡 2 調査全体図 (1:1,500)

立会い調査

30 寺畑遺跡群 9

所在地 佐久市大字猿久保字前原667-7、730-4他

調査委託者 佐久建設事務所

開発事業名 道路改良事業

調査期間 平成14年2月13・18日

面積 500㎡

調査担当者 林 幸彦

立地と経過

寺畑遺跡群は、西に流れる湯川の左岸にあり、標高684m内外を潤る。遺跡群内では、国道141号バイパスに係る調査で縄文時代草創期の、爪形文が出土している。

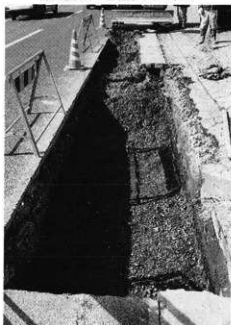
今回、佐久建設事務所が道路改良工事を行うことになった。近辺の試掘調査の結果や表面踏査の結果から事前保護協議で立会い調査とした。

調査の結果

各地点を掘削時に精査したが、遺構・遺物とも確認されなかった。



寺畑遺跡群 9 位置図 (1:10,000)



調査状況 (東方から)



試掘調査

31 栗毛坂遺跡群21

所在地 佐久市大字岩村田字岩村田北1丁目

3-3・5・7・8、4-1・3・6・7

調査委託者 株式会社 パナホーム信濃

開発事業名 宅地造成事業

調査期間 平成14年2月14日・15日

面積 4,323.8㎡

調査担当者 林 幸彦



栗毛坂遺跡群21 位置図 (1:10,000)

立地と経過

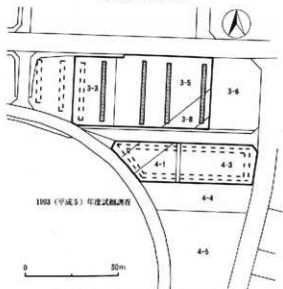
栗毛坂遺跡群は佐久市大字岩村田に所在する。今回、(株)パナホーム信濃が宅地造成を計画したため事前に試掘調査を実施し遺構の有無を調査した。北の隣接地(雇用促進住宅)西曾根遺跡では、奈良時代の竪穴住居址2軒、掘立柱建物址17棟、井戸址1基、土坑5基が発掘調査されている。対象地の西側部分と市道を挟んだ南側部分は、1993(平成5)年度にSBC住宅展示場建築に先立ち試掘調査されている。その際に遺構は、検出されていない。

調査の結果

南北に4本のトレンチを設定し、遺構の有無を確認した。遺構・遺物とも検出されなかった。



調査状況(南方から)



栗毛坂遺跡群21 調査全体図 (1:1,500)

試掘調査

32 松の木遺跡 3

所在地 佐久市大字岩村田字松の木

1452-8・11・14

調査委託者 矢野政支

開発事業名 店舗建築事業

調査期間 平成14年3月7日

面積 1,051㎡

調査担当者 林 幸彦



松の木遺跡3 位置図 (1:10,000)

立地と経過

松の木遺跡は、小海線岩村田駅南西約6kmに所在する。遺跡周辺の標高は約696m内外を測り、周辺の水田より2～3mほど高い微高地を形成している。

今回、矢野政支が店舗建築を計画したので、試掘調査を実施した。

本遺跡内では、平成8・9年度に国道141号バイパス工事(松の木遺跡Ⅰ・Ⅱ)、平成10年度に店舗建設(松の木遺跡Ⅲ)に係る発掘調査が行われていて、弥生時代後期～古墳時代前期初頭の竪穴住居址17軒、前方後円形の溝状遺構等が検出されている。

調査の結果

南北に4本のトレンチを設定し、遺構の有無を確認した。今回の地点は、松の木遺跡ⅠとⅡの間にある低地部分にあたり遺構は検出されなかった。

須恵器丸胴部小片が1片出土した。



調査状況 (南方から)



松の木遺跡3 調査全体図 (1:1,500)

2001年度(平成13年度)市内遺跡発掘調査遺跡一覧表

遺跡名	開発主体者	所在地	開発事業名	面積㎡	処置	調査期日
1 宮之上遺跡群5	清水澄生	横和	集合住宅建設	510	試掘	H13.4.24~27
2 岩村田遺跡群29	鶴ヶボタ	岩村田	宅地造成事業	888	試掘	H13.5.2~7.8
3 栗毛坂遺跡群19	ソニックス株式会社	岩村田	スポーツセンター建設事業	810	試掘	H13.5.14~15
4 蛇塚A遺跡II	川上紀夫	安原	集合住宅建設事業	1,182	試掘	H13.5.21
5 高師町遺跡群3	佐久浅間農業協同組合	新子田	JA在久浅間東部営農センター集荷場増築工事	182.27	試掘	H13.5.22
6 蛇塚B遺跡群4	中澤健一郎	新子田	集合住宅建設事業	2,136	試掘	H13.5.28~29
7 西一里塚遺跡群 鳴沢遺跡群 上砂田遺跡(隣接地)	佐久市土木課	根々井	市道11-1号線緊急地方 道路整備事業	558 対象面積 (1,393)	試掘	H12.6.14~22
8 栗毛坂遺跡群20	白井米子	横根	集合住宅建設	320	試掘	H13.6.26
9 長上呂遺跡群 聚石遺跡II	双信電機株式会社	長上呂	土壌調査 及び土地改良事業	8,391	試掘	H13.7.11~19.21
10 蛇塚B遺跡群5	市川郷道子	新子田	集合住宅建設	530	試掘	H13.7.17~19
11 此坂遺跡群 直路遺跡IV	有限会社田園不動産	岩村田	宅地造成事業	1,789.6	試掘	H13.7.24~26
12 麻塚古墳群1号墳 麻塚遺跡IV	曾根勇二、 曾根深雪	塚原	個人住宅建設	442	発掘調査	H13.8.20~10.19
13 東内池遺跡5	有限会社サンコー地所	新子田	宅地造成	330	試掘	H13.8.27
14 戸坂遺跡群 浅井城跡2	佐久建設事務所	新子田	道路改良	160	試掘	H13.8.29
15 跡坂遺跡群8	佐久市	横根	埋立処分施設整備事業	7,800	試掘	H13.8.30
16 鳴沢遺跡群3	有限会社田園不動産	根々井	宅地造成	260	試掘	H13.9.5~6
17 蛇塚A遺跡群2	萩原秀規	安原	ホスピス建設	3,510	試掘	H13.9.13~14
18 中金井遺跡群4	薄沢 保	小田井	集合住宅建設	4,793.57	試掘	H13.9.17
19 一町田遺跡1	佐久市(児童課)	三塚	児童館建設	160	試掘	H13.9.26
20 野沢館跡II	野沢潤子	塚	集合住宅建設	1,196	試掘	H13.10.15~16
21 城下遺跡群2	佐久市	内山	同和地区農業振興事業 (農道造成)	878	試掘	H13.10.22
22 東千石平遺跡群 東千石平遺跡1	——	瀬戸	学術調査	345	試掘	H13.10.29~30
23 長上呂遺跡群 聚石遺跡III	東亜開発株式会社	長上呂	宅地造成	323	試掘	H13.11.15 ~16.19
24 蛇塚B遺跡群6	佐久建設事務所	新子田	道路改良	85	試掘	H13.11.26
25 栗毛坂遺跡群 東芝間遺跡I	有限会社田園不動産	岩村田	宅地造成事業	2,791	試掘	H13.11.29 ~12.15
26 未周知	佐久建設事務所	内山	道路改良事業	13,920	試掘	H13.12.3~4
27 長上呂遺跡群5	清野虎男	長上呂	集合住宅建設	550	試掘	H13.12.5~7
28 曾根城遺跡II	安井英二	小田井	宅地造成	1,540	試掘	H14.1.15~16
29 竹原遺跡2	佐久建設事務所	平賀	道路改良事業	210	立会い	H14.1.31~2.7
30 寺畑遺跡群9	佐久建設事務所	猿久保	道路改良事業	500	立会い	H14.2.13~18
31 栗毛坂遺跡群21	株式会社バナホーム信濃	岩村田	宅地造成事業	4,323.8	試掘	H14.2.14~15
32 松の木遺跡3	矢野政支	岩村田	店舗建設事業	1,051	試掘	H14.3.7



2001年度（平成13年度）市町村界変更前位置図（1：50,000）

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第108集

市内遺跡発掘調査報告書2001

2003年3月

編集・発行 佐久市教育委員会

〒385-8501 長野県佐久市大字中込3056

文化財課

〒385-0006 長野県佐久市大字志賀5953

印刷所 株式会社 中信社
